



2007年3月期 決算説明会 資料  
＜平成19年3月期 期末決算＞  
Operating results for the year ended 31<sup>st</sup> March, 2007

株式会社 CSKホールディングス  
CSK HOLDINGS CORPORATION

for sustainability

## 目次 Contents

	Page
連結業績サマリー Consolidated summary	2
連結販売管理費・営業外損益の内訳 Consolidated sales & administration costs and non-operating income/expenses	3
連結特別損益の内訳 Consolidated extraordinary gains & losses	4
連結セグメント別業績 Consolidated operating results by segments	5
連結情報サービス事業の業績 Consolidated operating results of information services	6
連結金融サービス系事業分野の業績 Consolidated operating results of financial services, securities services and prepaid card sales	7
連結貸借対照表 Consolidated balance sheets	9
連結キャッシュ・フロー Consolidated cash flows	10
連結通期業績予想 Consolidated earnings forecast for March, 2007	11

### <CSKグループのロゴマークについて Logotype of CSK Group >

CSKグループは、平成17年10月1日、㈱CSKホールディングスを持株会社とする新たな経営体制へ移行し、これに伴い、CSKグループを表象するロゴマークを設定したものです。

ロゴマークは、「CSK GROUP」のロゴタイプと、カーブ状にデザイン化した「C」（CSKの頭文字）をスクランブルに配置した組合せにより構成されています。

内側（CSK GROUP）から外側（社会全体）に向かって放射されるパワーとダイナミズムを表現したデザインは、同時に「未来に向けた永続的な成長性」のシンボルでもあります。

このロゴに込められた「躍動感と連携」、「自由な創造性」は、いずれも「総合的なサービスプロバイダー」を目指すCSK GROUPの企業イメージを表象するものです。

CSK GROUP established its new logotype when its group management was reorganized under the control of its holding company CSK HOLDINGS CORPORATION on 1<sup>st</sup> October, 2005 with the vision of comprehensive service provider.

This new logotype consists of nameplate CSK GROUP and surrounding two “C”, initial letter of CSK.

The design expresses power and dynamism which radiate from inside (CSK GROUP) toward outside (the whole society) and is a symbol of permanent development for the future.

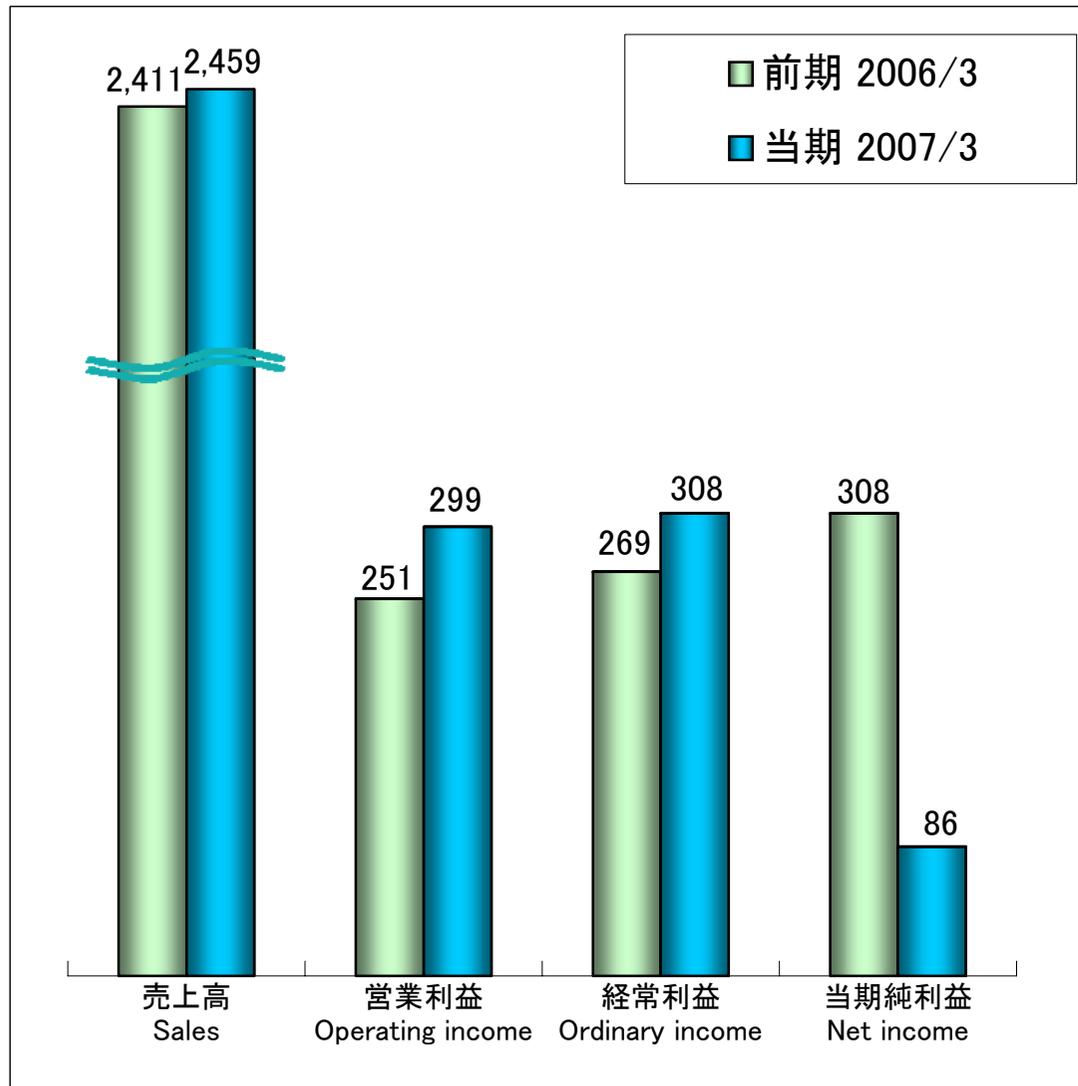
The logotype also implies the corporate culture of CSK GROUP, such as pulse, collaboration and creativity.

### <免責事項 Disclaimer>

本資料は、当社グループの業績及びグループ事業戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社及び当社グループ会社の株式の購入や売却を勧誘するものではありません。本説明会及び資料の内容には、将来の業績に関する意見や予測等の情報を掲載することがありますが、これらの情報は、資料作成時点の当社の判断に基づいて作成されております。よって、その実現・達成を約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。また、本資料の無断での複製、転送等を行わないようにお願い致します。

This material is intended to provide information about the business performance and strategy of the CSK Group. It is not intended and should not be construed as an inducement to purchase or sell stock in CSK HOLDINGS CORPORATION (CSK) or CSK Group companies. Statements in this presentation and at the explanatory meeting that are not historical fact are forward-looking statements, based on the current beliefs, estimates and expectations of management. As these beliefs, estimates and expectations are subject to a number of risks, uncertainties, and assumptions, actual results may be materially different. CSK undertakes no obligation to update any forward-looking statements, and shall in no event be liable for any damages arising out of the use or interpretation of this material. Please refrain from copying, disseminating or distributing this material without the prior consent of CSK.

# 連結業績サマリー Consolidated summary



(単位: 億円/100millions of yen)

	前期 2006/3	当期 2007/3	前期比 Variance
売上高 Sales	2,411	2,459	48 2.0%
営業利益 Operating income	251 10.4%	299 12.2%	47 19.0%
経常利益 Ordinary income	269 11.2%	308 12.5%	38 14.2%
当期純利益 Net income	308 12.8%	86 3.5%	△221 △71.9%

1株当たり利益 Earnings per share	円 410.52	円 117.35	円 △293.17
-------------------------------	-------------	-------------	--------------

### <前期との比較サマリー>

売上高 : 前期比、2.0%の増収

- 情報サービス事業では、ASP・BPO・検証サービス・システム開発等は順調に推移するが、機器販売の減少により1.9%の減収。
- 金融サービス・プライベートカード事業は順調に推移し増収。

営業利益 : 前期比、19.0%の増益

- 情報サービス事業では、機器販売以外が好調に推移したこと、システム開発の収益性の向上、前期のR&D案件の製品化に伴うR&D費用の減少等により、増益。
- 金融サービス事業は、投資案件の精算が進み、増益。

経常利益 : 前期比、14.2%の増益

- 営業利益段階までと同様の要因により、増益。

当期純利益 : 前期比、減益

- 前期に大型の特別利益(投資有価証券売却益等)があったこと、当期に国税更正処分に係る過年度法人税等62.1億円を計上したこと等から、前期比221億円(71.9%)の減益。

## 連結 販売管理費・営業外損益の内訳

Consolidated sales & administration costs and non-operating income/expenses

(単位: 億円/100millions of yen)

販売管理費	前期 2006/3	当期 2007/3	前期比 Variance	増減要因 又は 内容説明 Reason or explanation of account
人件費	274.5	278.3	3.8	営業強化、スタッフ増員、サステナビリティ実現のための研究活動等
研究開発費	37.1	2.2	△34.9	前期：新証券、医療関連等
広告宣伝費	14.0	16.5	2.5	販促活動に係る広告宣伝費用が増加
家賃	37.3	48.7	11.3	青山オフィス家賃等
その他	231.2	238.6	7.3	その他の主な内容：通信費、支払手数料、募集費、地方税等
<b>販売管理費 計</b>	<b>594.3</b>	<b>584.5</b>	<b>△9.7</b>	

### < 営業外損益 >

営業外収益	前期 2006/3	当期 2007/3	前期比 Variance	増減要因 又は 内容説明 Reason or explanation of account
受取利息	1.2	2.9	1.6	現預金増加に伴い受取利息も増加
受取配当金	—	3.5	3.5	保有有価証券に係る配当金が増加。前期は、その他に含まれる(2.0億円)
持分法による投資利益	1.9	—	△1.9	前期：ネクストコムに係る持分法投資利益、当期：持分法適用会社なし
カード退蔵益	9.0	9.6	0.5	プリペイドカードの未使用見込分に係るカード預り金取崩額
助成金収入	4.6	—	△4.6	グループ会社(地方展開会社)の助成金収入。当期は、その他に含まれる(1.4億円)
その他	11.1	6.6	△4.4	その他の主な内容：賃貸料収入、助成金収入等
<b>営業外収益 計</b>	<b>28.0</b>	<b>22.7</b>	<b>△5.3</b>	
営業外費用	前期 2006/3	当期 2007/3	前期比 Variance	増減要因 又は 内容説明 Reason or explanation of account
支払利息	1.7	0.9	△0.7	金融サービス資産増加に伴い原価にて支払利息計上のため
退職給付引当金繰入額	2.6	2.6	—	会計基準変更時の償却額
証券代行手数料	1.8	1.5	△0.3	信託銀行への株式事務委託費用
リース解約損失	—	2.6	2.6	主に、コンピュータ機器のリース契約の解約による一時費用
保険損失	0.9	—	△0.9	前期：社員に係る団体定期保険の会社負担分
転籍調整費用	1.0	1.9	0.8	転籍に伴う給与調整額
その他	1.3	3.9	2.6	その他の主な内容：社債発行費、開業費等
<b>営業外費用 計</b>	<b>9.6</b>	<b>13.7</b>	<b>4.0</b>	
営業外損益 Net	18.4	9.0	△9.3	

## 連結 特別損益の内訳

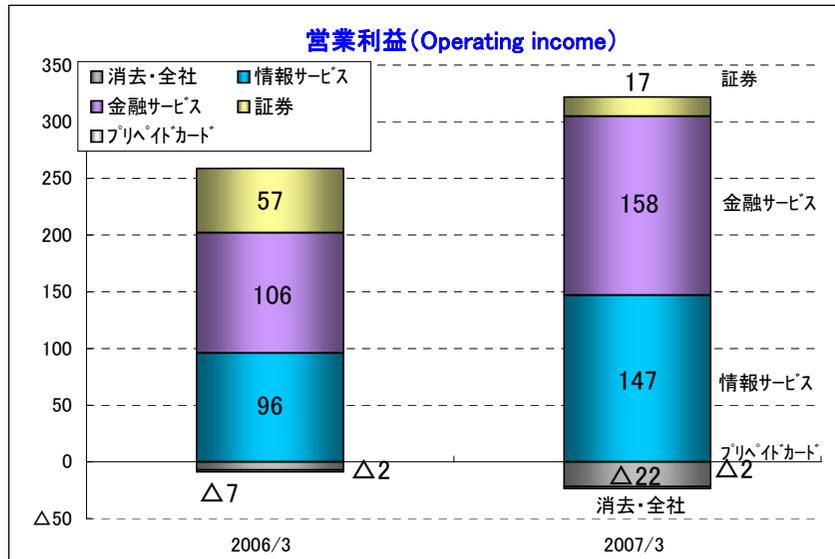
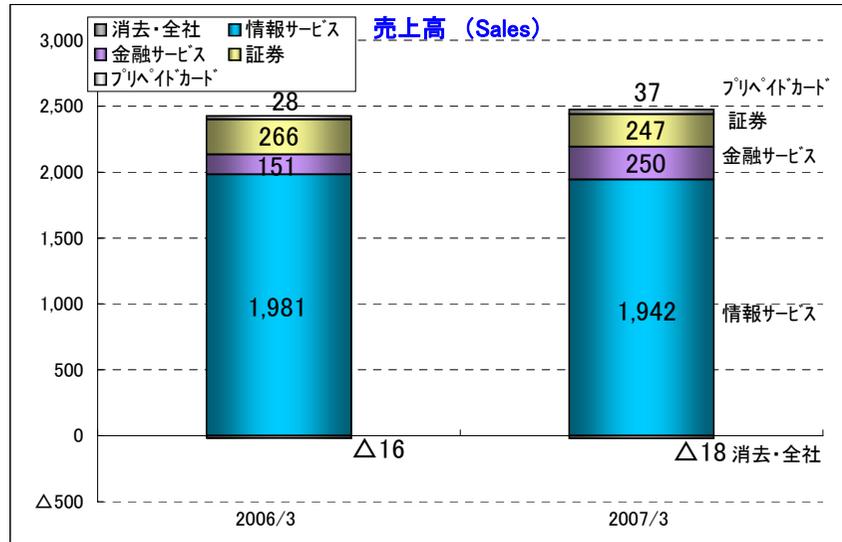
Consolidated extraordinary gains &amp; losses

(単位: 億円/100millions of yen)

### < 特別損益 >

特別利益	前期 2006/3	当期 2007/3	前期比 Variance	増減要因 又は 内容説明 Reason or explanation of account
固定資産売却益	158.9	2.0	△156.8	前期：青山本社ビルの証券化に伴う売却益等
投資有価証券売却益	214.1	—	△214.1	前期：ネクストコム株式の売却益
事業譲渡益	—	2.7	2.7	グループ会社における事業譲渡に係る利益
開発等損失引当金戻入益	—	4.8	4.8	前期引当てた開発等損失引当金の戻し入れ益
その他	2.5	2.8	0.3	
特別利益 計	375.6	12.5	△363.1	
特別損失	前期 2006/3	当期 2007/3	前期比 Variance	増減要因 又は 内容説明 Reason or explanation of account
固定資産除却損	11.5	1.6	△9.9	前期：保有不動産売却、支店統廃合に伴う除却
減損損失	33.7	—	△33.7	前期：売却予定資産の減損、電話加入権、社内利用ソフトウェア等
投資有価証券評価損	—	5.4	5.4	保有する投資有価証券の評価損（前期はその他2.9億円）
データセンター移転損失	15.6	—	△15.6	前期：データセンターの統合に伴う一時費用
システム開発解約損失	29.4	—	△29.4	前期：システム開発における解約損失
証券業に係る特別法上の準備金	4.2	2.7	△1.5	証券取引責任準備金及び金融先物取引責任準備金の繰入額
サービス中止損失	12.3	—	△12.3	前期：ASPサービスの提供中止にかかる損失
その他	10.5	3.7	△6.8	前期：投資有価証券の評価損 等
特別損失 計	117.6	13.5	△104.1	
特別損益 Net	258.0	△0.9	△259.0	

連結 セグメント別業績 Consolidated operating result by segments



(単位: 億円/100millions of yen)

セグメント別業績 Operating result by segment

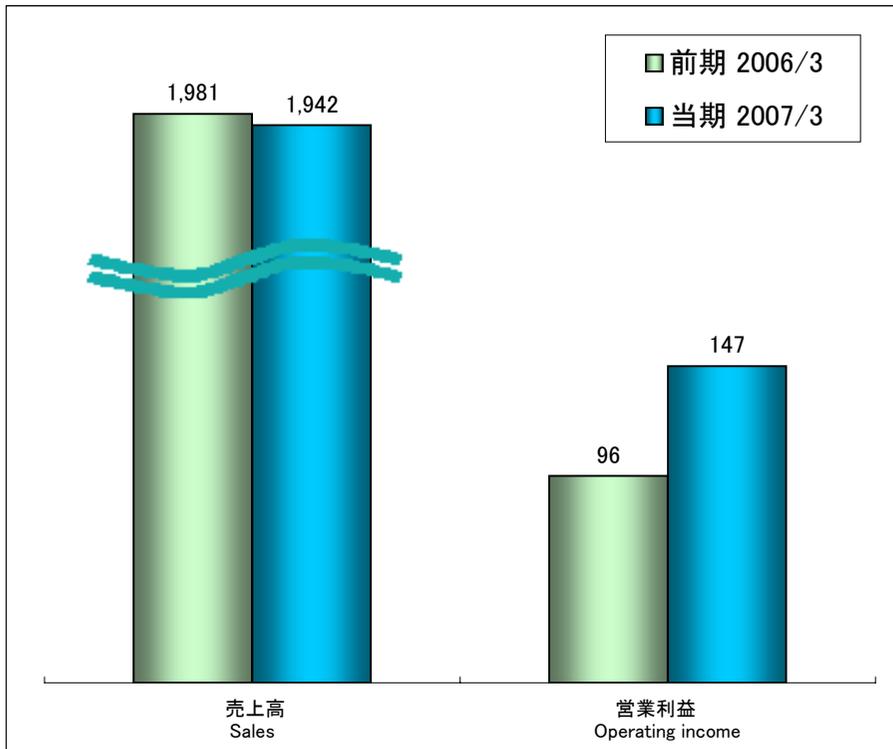
	前期 2006/3	当期 2007/3	前期比 Variance
<b>情報サービス</b> Information services			
売上高 Sales	1,981	1,942	△38
営業利益 Operating income	96	147	51
<b>金融サービス</b> Financial services			
売上高 Sales	151	250	98
営業利益 Operating income	106	158	51
<b>証券</b> Securities services			
売上高 Sales	266	247	△19
営業利益 Operating income	57	17	△39
<b>プリペイドカード</b> Prepaid card sales			
売上高 Sales	28	37	9
営業利益 Operating income	△2	△2	△0
<b>消去及び全社</b> Elimination & Corporate			
売上高 Sales	△16	△18	△2
営業利益 Operating income	△7	△22	△14
<b>合計 Total</b>			
売上高 Sales	2,411	2,459	48
営業利益 Operating income	251	299	47

各セグメント別の主な会社一覧

<b>情報サービス</b> Information services
<テクノロジーサービス> 株CSKシステムズ、旧株CSK、株ジェー・アイ・イー・シー、旧日本フイツ株、株福岡CSK、株北海道CSK、株CSK Winテクノロジー、株スーパーソフトウェア株、株CSJソリューションズ、株CSKシステムマネジメント
<ビジネスサービス> 株サービスウェア・コーポレーション、株OSKコミュニケーションズ、株福井CSK、株島根CSK、株岩手CSK、株大分CSK、株CSKマーケティング、株ヘリサップ、株ビジネスエクステンション株、株CSKフィールドサービス株、株CSK証券サービス、株CSKネットワークシステムズ、株ISAO、株ライワークス、株CSKビジネスサービス、株CSKプレジデント
<b>金融サービス</b> Financial services
株CSKファイナンス株、株CSKハンチャーキャピタル株、株CSKプリンパルズ株、株プラザアセットマネジメント株、匿名組合19組合(23組合連結し、4組合期中で精算により除外)
<b>証券</b> Securities services
株コスモ証券株、株CSK-RB証券株
<b>プリペイドカード</b> Prepaid card sales
株クオカード
<b>消去及び全社</b> Elimination & Corporate
株CSKホールディングス、株CSK-IS

## 連結 情報サービス事業の業績

Consolidated operating results of information services



(単位: 億円/100millions of yen)

		前期 2006/3	当期 2007/3	前期比 Variance	
CSK-SYS ※1	売上高	1,276	1,207	△68	
	営業利益	62	83	21	
JIEC	売上高	134	146	12	
	営業利益	7	11	4	
SWC(連結)	売上高	195	205	10	
	営業利益	10	19	8	
CCO(連結)	売上高	55	63	7	
	営業利益	2	4	2	
VERI	売上高	47	69	21	
	営業利益	7	11	4	
CSK-SS	売上高	81	113	31	
	営業利益	13	19	6	
CSK-NET	売上高	95	89	△5	
	営業利益	5	5	0	
その他、連結消去 Others, Elimination	売上高	95	47	△48	
	営業利益	△10	△8	2	
情報サービス事業 Information services		売上高	1,981	1,942	△38
		営業利益	96	147	51
		営業利益率	4.9%	7.6%	2.7%

※1 当期との業績比較のために、前期は以下の調整した数値を記載。  
CSK-SYSの前期 = “CSK-SYSの前期” + “旧CSK” + “旧JFITS” - “CSK-HD相当分”  
(JFITSは、2005/10にCSK-SYSと合併したため、当期はCSK-SYSに含まれているため旧JFITSを加算)

※2 その他の会社業績と連結消去の合算値を記載。

### <情報サービス事業の概況>

- ①金融業界向けの売上が拡大。特に信託銀行や生保・損保におけるシステム統合・再構築案件が牽引。
- ②サービスプロバイダーへの事業転換や収益性の改善を目指し選別受注を推進。
- ③金融、証券、カード、サービス業界向けのBPOが引き続き拡大。業務プロセスの改善により収益性が向上。
- ④デジタル家電や携帯電話などの製品開発拡大に伴い、組込ソフトウェアの検証ニーズが増加。
- ⑤顧客満足度向上や差別化の手段として、高品質なテクニカルサポートに対するニーズが増加。
- ⑥生産性向上に向けた取り組み、およびR&D費用の減少により、営業利益率は4.9%→7.6%に改善。

### <当社グループの情報サービス事業の状況>

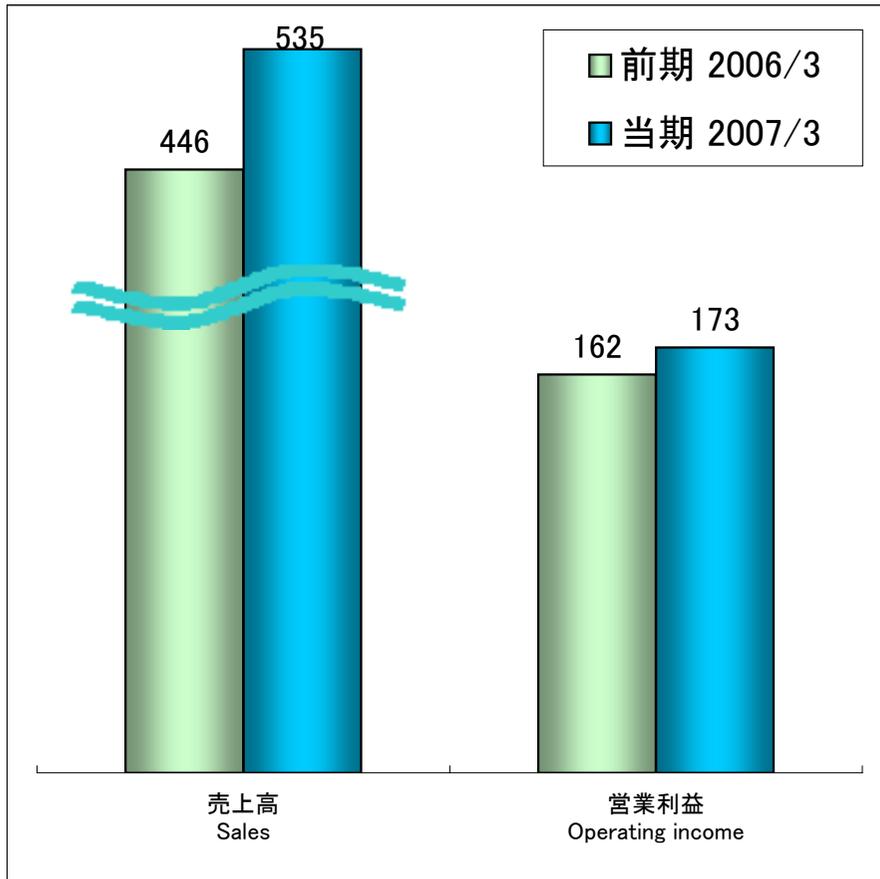
売上高：前期比、減収  
証券業界向けの「ASP」、携帯電話・通信・デジタル家電分野向けの「検証サービス」、製造・通販・サービス・証券・カード業界向けの「テクニカルサポートやアウトバウンド型コンタクトセンター業務」、金融・保険、輸送用機器、機械、運輸・旅行業界にかかる「システム開発」等が順調に推移しましたが、機器販売のリプレース需要等の減少により、売上高合計では1.9%の減収。

営業利益：前期比、大幅増益  
機器販売以外が好調に推移したことに加え、システム開発の収益性向上、前期にR&Dとして費用処理した案件の製品化(ソフトウェアとして資産計上)等に伴いR&D費用が減少したことから、前期比52.7%の増益。

## 連結 金融サービス系事業分野の業績(1)

Consolidated operating results of financial services, securities services and prepaid card sales

※金融サービス系事業分野 = 金融サービス事業、証券事業、プリペイドカード事業の3つを合わせた分野の総称



(単位: 億円/100millions of yen)

		前期 2006/3	当期 2007/3	前期比 Variance	
金融サービス事業 Financial services	売上高	151	250	98	
	営業利益	106	158	51	
証券事業 Securities services	売上高	266	247	△19	
	営業利益	57	17	△39	
プリペイドカード事業 Prepaid card sales	売上高	28	37	9	
	営業利益	△2	△2	△0	
金融サービス系事業分野		売上高	446	535	88
		営業利益	162	173	11

### <金融サービス系事業分野の概況>

- ①金融サービス事業 : 経済環境の改善と並行して、マーケット環境は、引き続き好調に推移。景気拡大トレンドのなか、ベンチャー企業のIPOや増資も拡大傾向。
- ②証券事業 : 株式市場は、5月以降急落し、上半期は低水準で推移、下期に入り持ち直すも、2月末の世界同時株安や米国景気の不透明感から年度末は調整局面で終る。
- ③プリペイドカード事業 : 企業における販促ツールとしての利用やギフト市場の拡大が見込まれること及び景況感の向上にともない、利用料の拡大が見込まれる。

### <業績>

売上高 : 前期比、増収

→証券事業では株式委託手数料及びトレーディング収益が減少するも、金融サービス事業及びプリペイドカード事業が好調に推移し、売上全体では88億円の増収。

営業利益 : 前期比、増益

→金融サービス事業の案件の精算が順調に推移し、増益に貢献。  
→証券事業は、減収に加え販促費用・人件費等の販管費が増加し、減益。  
→プリペイドカード事業は、増収を背景に販促活動を強化したため、営業損益は前期並。

## 連結 金融サービス系事業分野の業績(2) Consolidated operating results of financial services, securities service and prepaid card sales

### 金融サービス事業の投資残高と業績推移

Balance of investment and performance in financial service segments

(単位: 億円/100millions of yen)

	前々期 2005/3	前期 2006/3	当期 2007/3	前期比 Variance
金融サービス運用資産(A)	※ 554	941	1,108	167
営業投資有価証券(B)	※ 33	31	21	△10
資産合計(C=A+B)	587	972	1,129	156
金融サービス負債(D)	-	-	151	151
資産・負債純額 (E=C-D)	587	972	978	5

※ 2006/3の期首より事業目的の整理により科目振替を実施しているため、2005/3の相当部分を組替えております。

売上高	107	151	250	98
営業利益	70	106	158	51

**連結 貸借対照表** Consolidated balance sheets

組合連結・新規投資等で増加

信用取引負債 △215億円  
預り金受入保証金 △99億円 他

一年内償還予定社債  
(固定から流動へ) +200億円  
一年内長期借入金 △45億円  
短期借入金 +86億円 他

(単位: 億円/100millions of yen)

預託金 △113億円 信用取引資産 △210億円 他				前期末 2006/3	当期末 2007/3	前期末比 Variance	前期末 2006/3	当期末 2007/3	前期末比 Variance
現預金	774	1,084	309	有利子負債(短期)	238	510	271		
売掛金	360	336	△23	カード預り金	389	428	38		
金融サービス資産 及び 営業投資有価証券	972	1,129	156	金融サービス負債	-	151	151		
証券関連資産	1,806	1,531	△275	証券関連負債	1,480	1,210	△270		
その他	486	537	51	その他	564	499	△64		
<b>流動資産 Current assets</b>	<b>4,401</b>	<b>4,620</b>	<b>218</b>	<b>流動負債 Current liabilities</b>	<b>2,673</b>	<b>2,800</b>	<b>127</b>		
有形固定資産	269	269	△0	有利子負債(長期)	680	830	150		
無形固定資産	44	140	96	その他※2	43	54	11		
投資その他の資産	715	742	27	<b>固定負債 Fixed liabilities</b>	<b>723</b>	<b>884</b>	<b>161</b>		
投資有価証券	586	600	13	<b>負債合計 Total liabilities</b>	<b>3,397</b>	<b>3,685</b>	<b>288</b>		
前払年金費用	32	33	0	株主資本	1,687	1,752	64		
繰延税金資産	9	19	9	評価差額等	110	89	△21		
その他	86	89	2	少数株主持分	236	245	9		
<b>固定資産 Fixed assets</b>	<b>1,029</b>	<b>1,152</b>	<b>122</b>	<b>純資産合計 Total net assets</b>	<b>2,034</b>	<b>2,087</b>	<b>53</b>		
<b>資産合計 Total assets</b>	<b>5,431</b>	<b>5,772</b>	<b>341</b>	<b>負債純資産合計 Total liabilities and net assets</b>	<b>5,431</b>	<b>5,772</b>	<b>341</b>		

自己資本比率 33.1% 31.9% △1.2%

保有不動産の適正化の一環で売却

証券システム(ソフトウェア)の増加

※1 前期末については、従来の「資本」及び「少数株主持分」を、「純資産」に組替えて記載しております。  
Shareholders' equity and minority interests at 2006/3 are rearranged to net assets.

※2 固定負債のその他には、証券事業にかかる特別法上の準備金を含む。  
Statutory reserves in securities service are included.

未払法人税等 △22億円  
買掛金 △27億円 他

## 連結 キャッシュ・フロー Consolidated cash flows

(単位: 億円/100millions of yen)

	前期 2006/3	当期 2007/3	前期比 Variance
営業キャッシュ・フロー Operating cash flows	△250	70	321
投資キャッシュ・フロー Investing cash flows	289	△165	△455
財務キャッシュ・フロー Financial cash flows	△66	395	461
キャッシュ・フロー計 *1 Total cash flows *1	△26	301	327
現預金残高 *2 Cash & cash equivalents,at end *2	747	1,054	307

\* 1: 換算差額含む。 Including effect of exchange rate change.

\* 2: 連結範囲変動による増減含む。 Including effect of change in consolidation scope.

・前期は、証券業と金融サービスでの信用取引増加や投資先行で、営業CFマイナス。

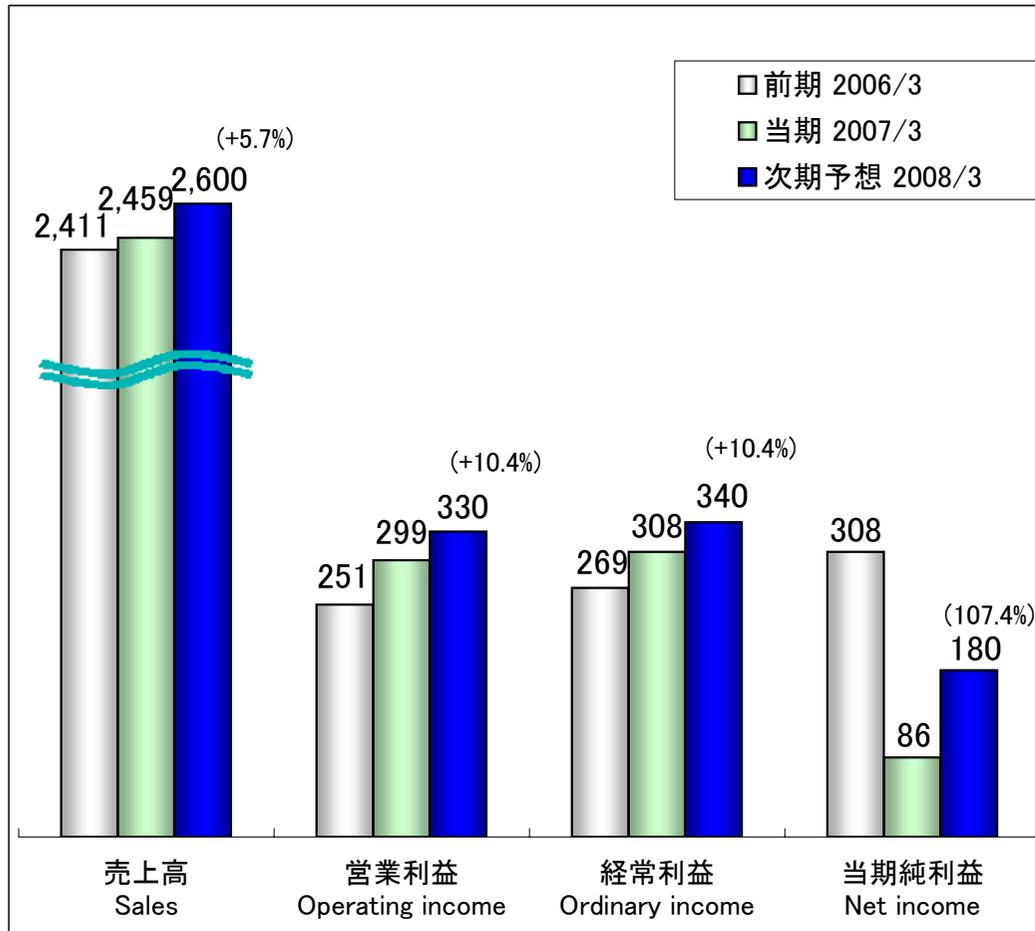
・前期に、ネクストコム株式の売却及び不動産証券化による売却収入による収入が多かった事及び当期の新証券システムの開発

・2006/7新株予約権付社債350億円の発行など

# 連結 通期業績予想

Consolidated earnings forecast for March, 2007

(単位: 億円/100millions of yen)



	前期 2006/3	当期 2007/3	次期予想 2008/3 Forecast	増減額 Variance
売上高 Sales	2,411	2,459	2,600	140 5.7%
営業利益 Operating income	251 10.4%	299 12.2%	330 12.7%	30 10.4%
経常利益 Ordinary income	269 11.2%	308 12.5%	340 13.1%	31 10.4%
当期純利益 Net income	308 12.8%	86 3.5%	180 6.9%	93 107.4%

1株当たり利益 Earnings per Share	円	円	円	円
	410.52	117.35	242.30	124.95

## <2008/3期 連結通期業績予想について>

- 売上高  
システム開発を中心としたテクノロジーサービス、BPOやASPを中心としたビジネスサービスの双方とも、好調に推移する見通し。
- 営業利益及び経常利益  
テクノロジーサービスでの収益性の向上が業績に寄与し、ビジネスサービスの新会社の立ち上げ費用、先行費用を吸収し情報サービス事業全体で大きく増益になる見通し。金融サービス系も引き続き安定的に利益貢献。
- 当期純利益  
経常利益までの増益要因に加え、2007/3期に国税更正処分にかかる過年度法人税等62.1億円があったこと等により107.4%の大幅増益となる見通し。